

# 第135回記者懇談会 (2019.10.16)

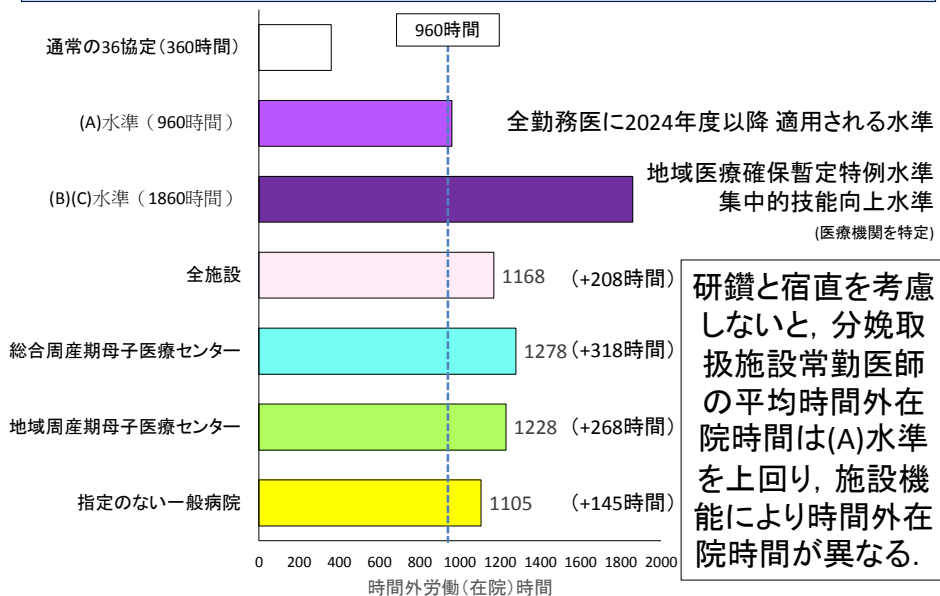
## 働き方は改革できる!?

### 分娩取扱施設の長時間労働(在院) に関連する要因とその対応

—日本産婦人科医会施設情報調査2018, 勤務医部会アンケート調査より—

日本産婦人科医会 常務理事  
日本医科大学  
中井章人

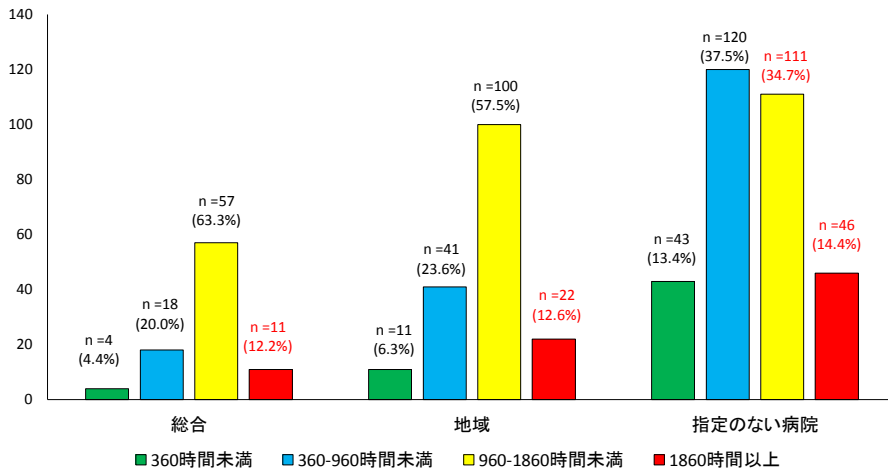
36協定で締結できる時間外労働時間上限(時間/年)と実際の時間外在院時間



研鑽と宿直を考慮しないと, 分娩取扱施設常勤医師の平均時間外在院時間は(A)水準を上回り, 施設機能により時間外在院時間が異なる.

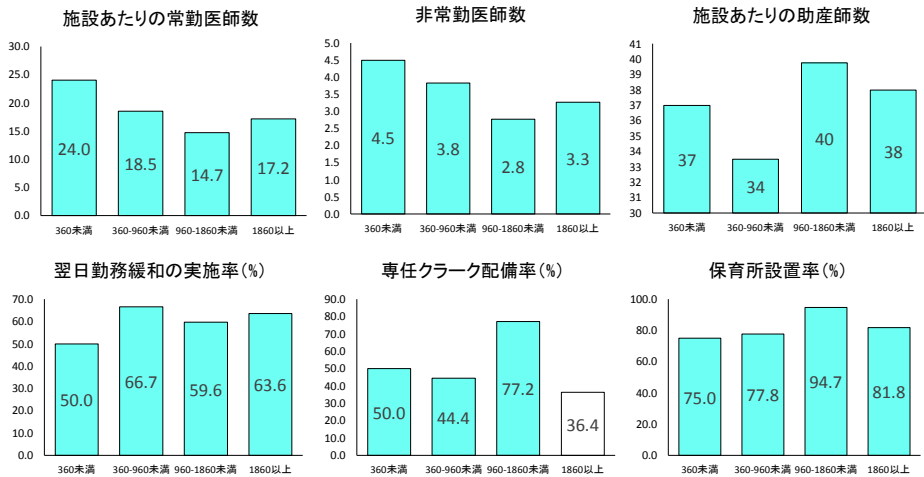
厚生労働省, 医師の働き方改革に関する検討会報告書(3月28日)より抜粋・改変<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000496522.pdf>  
日本産婦人科医会勤務医部会アンケート2018(回収率74%)

## 施設機能別時間外在院時間ごとの施設数



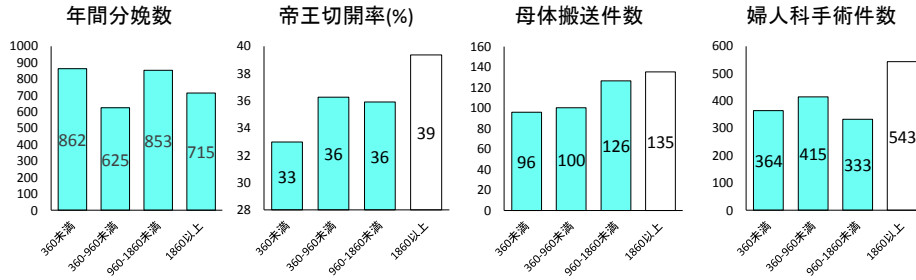
総合・地域周産期母子医療センター，指定のない一般病院で，(A)水準(960時間未満)を満たすのはそれぞれ24.4%，29.9%，50.9%であった。  
 (B)(C)水準以上の施設は，指定のない一般病院で多い傾向があった。

## 総合周産期母子医療センター



1. 在院時間の短い施設で医師数は多いが，時間外在院360時間以上の施設では，在院時間と医師数に関連はない。
2. 時間外在院1860時間以上の施設で，専任の**医師事務補助者が少ない**。

## 総合周産期母子医療センター



- 年間時間外在院時間が(A)水準に止まる施設は24.4%で、63.3%で(B)水準となり、それ以上の施設も12.2%程度存在した。
- 在院時間に分娩数は影響していない。
- 時間外在院1860時間以上の施設で、専任の医師事務補助者が少なく、年間母体搬送受入件数と婦人科手術件数が多く、帝切率が高い。

- MFICUが設置されており、宿日直が認められる可能性は低い。
- 母体搬送が過度に集中しないよう、地域で検討すべき課題になる。
- 婦人科手術は専攻医の研修要件でもあり、単純に削減できるものではないが、適正な件数に関し施設ごとに検討する必要がある。

## 総合周産期母子医療センターの時間外在院時間ごとの施設数と医師・メディカルスタッフ数

平均時間外在院時間/年	施設数 (%)	全病床数 (産婦人科 病床数)	産婦人科			非常勤 医師数	助産師 数	看護師 数	小児科 医師数	麻酔科 医師数	
			常勤医師数 男性	常勤医師数 女性	合計						
総合周産期母子医療センター (n=90)	90	740 (60)	8.7	7.5	16.2	3.2	3.1	38.2	18.3	21.2	16.4
360時間未満	4 (4.4)	846 (66)	10.5	13.5	24.0	8.8	4.5	37.0	18.3	22.5	20.8
360時間から960時間未満	18 (20.0)	817 (53)	8.9	9.6	18.5	3.8	3.8	33.5	17.6	18.6	17.4
960時間から1860時間未満	57 (63.3)	695 (61)	8.3	6.5	14.7	2.7	2.8	39.8	18.8	22.1	15.6
1860時間以上	11 (12.2)	814 (63)	9.6	7.5	17.2	3.2	3.3	38.0	16.1	20.2	17.7
全施設 (n = 584)	584	419 (38)	4.3	3.4	7.7	1.5	3.0	20.7	14.0	8.5	7.1

\*常勤医師のうち妊娠・育児に関わる女性医師数

## 勤務緩和の取り組み

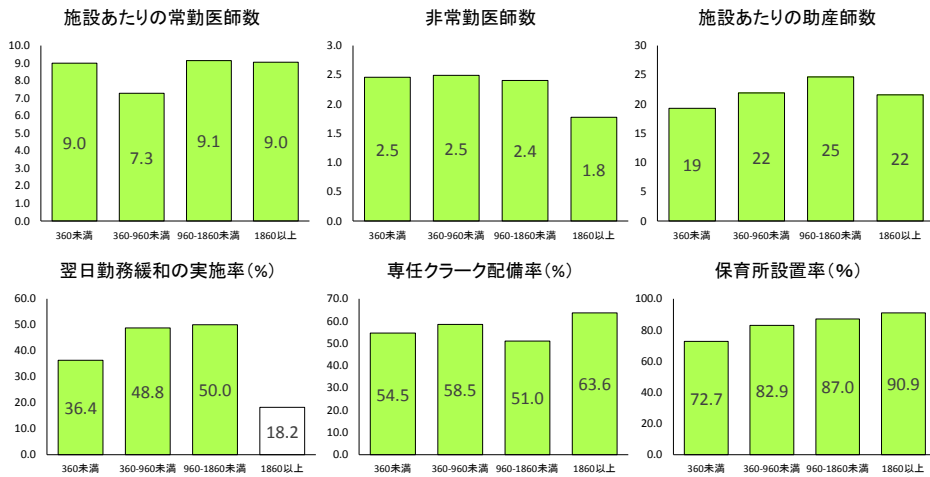
平均時間外在院時間/年	専任クラーク有 件数 (%)	翌日勤務緩和 件数 (%)	院内保育所 件数 (%)	院内助産 件数 (%)	助産師外来 件数 (%)
総合周産期母子医療センター (n=90)	58 (64.4)	55 (61.1)	80 (88.9)	20 (22.2)	65 (72.2)
360時間未満	2 (50.0)	2 (50.0)	3 (75.0)	2 (50.0)	4 (100.0)
360時間から960時間未満	8 (44.4)	12 (66.7)	14 (77.8)	4 (22.2)	13 (72.2)
960時間から1860時間未満	44 (77.2)	34 (59.6)	54 (94.7)	10 (17.5)	38 (66.7)
1860時間以上	4 (36.4)	7 (63.3)	9 (81.8)	4 (36.4)	10 (90.9)
全施設 (n = 584)	248 (42.5)	246 (42.1)	427 (73.1)	94 (16.1)	366 (62.7)

## 仕事量

平均時間外在院時間/年	分娩数	帝王切開 件数 (%)	母体搬送 受入数	婦人科 手術
総合周産期母子医療センター (n=90)	791.0	286.4 (36.2)	121.2	376.2
360時間未満	862.0	284.3 (33.0)	96.0	363.8
360時間から960時間未満	624.7	226.6 (36.3)	100.2	414.8
960時間から1860時間未満	853.2	306.5 (35.9)	126.5	332.7
1860時間以上	714.8	281.3 (39.3)	135.4	543.2
全施設 (n = 584)	565.3	150.4 (26.6)	60.5	263.8

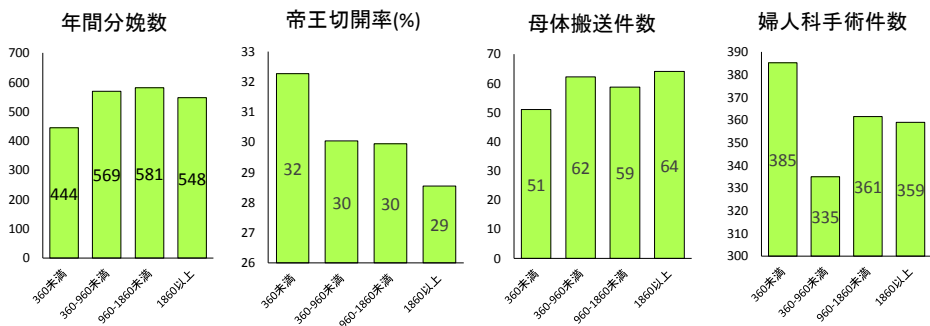
診療実績は年間数

### 地域周産期母子医療センター



1. 時間外在院時間はマンパワーに依存していない。
2. 時間外在院1860時間以上施設で、**当直翌日の勤務緩和が実施されていない。**

### 地域周産期母子医療センター



1. 総合周産期母子医療センターに比較し、在院時間は若干短く、29.9%が(A)水準、57.5%が(B)水準、それ以上が12.6%であった。
2. 時間外在院時間は**マンパワーや仕事量に依存せず**、延長している施設で、**当直翌日の勤務緩和が実施されていない傾向**であった。

- 在院時間の長い施設では、比較的短時間の在院時間に止まっている施設のシステムや対策を取り入れる必要がある。
- 宿日直の許可基準を満たす可能性があり、実態に合わせ検討する必要がある。

地域周産期母子医療センターの時間外在院時間ごとの施設数と医師・メディカルスタッフ数

平均時間外在院時間/年	施設数(%)	全病床数 (産婦人科 病床数)	産婦人科					助産師 数	看護師 数	小児科 医師数	麻酔科 医師数
			常勤医師数			妊娠 育児*	非常勤 医師数				
			男性	女性	合計						
地域周産期母子医療センター(n=174)	174	525(42)	4.9	3.8	8.7	1.8	2.3	23.3	13.5	10.7	8.6
360時間未満	11(6.3)	528(46)	5.6	3.4	9.0	0.9	2.5	19.3	17.1	10.6	10.5
360時間から960時間未満	41(23.6)	475(39)	4.1	3.1	7.3	1.7	2.5	21.9	12.4	8.2	5.6
960時間から1860時間未満	100(57.5)	548(44)	4.9	4.2	9.1	1.9	2.4	24.6	13.8	11.9	9.1
1860時間以上	22(12.6)	514(36)	5.4	3.7	9.0	1.6	1.8	21.5	12.3	9.8	10.9
全施設(n=584)	584	419(38)	4.3	3.4	7.7	1.5	3.0	20.7	14.0	8.5	7.1

\*常勤医師のうち妊娠・育児に関わる女性医師数

勤務緩和の取り組み

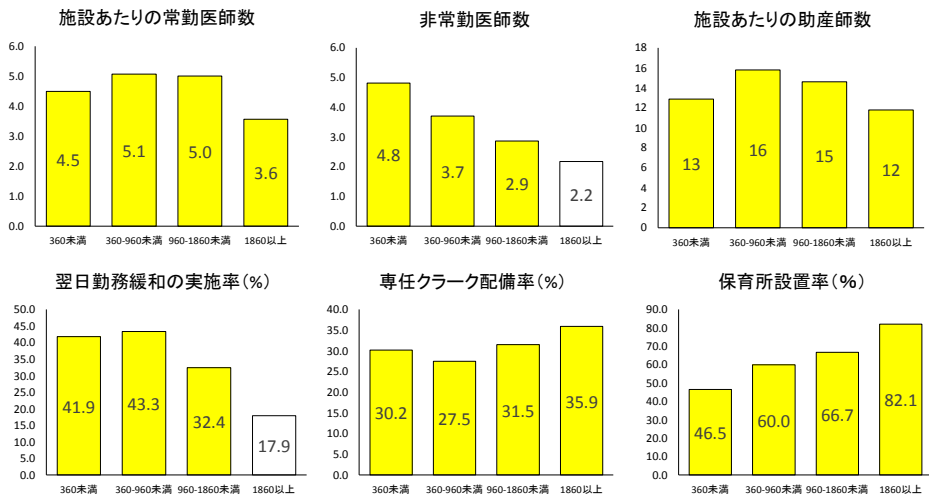
平均時間外在院時間/年	専任クラーク有 件数(%)	翌日勤務緩和 件数(%)	院内保育所 件数(%)	院内助産 件数(%)	助産師外来 件数(%)
地域周産期母子医療センター(n=174)	95(54.6)	78(44.8)	149(85.6)	37(21.3)	125(71.8)
360時間未満	6(54.5)	4(36.4)	8(72.7)	1(9.1)	7(63.3)
360時間から960時間未満	24(58.5)	20(48.8)	34(82.9)	5(12.2)	30(73.2)
960時間から1860時間未満	51(51.0)	50(50.0)	87(87.0)	29(29.0)	70(70.0)
1860時間以上	14(63.6)	4(18.2)	20(90.9)	2(9.1)	18(81.8)
全施設(n=584)	248(42.5)	246(42.1)	427(73.1)	94(16.1)	366(62.7)

仕事量

平均時間外在院時間/年	分娩数	帝王切開数 件数(%)	母体搬送 受入数	婦人科 手術
地域周産期母子医療センター(n=174)	565.3	169.1(29.9)	59.8	356.8
360時間未満	444.1	143.3(32.3)	51.0	385.3
360時間から960時間未満	568.9	170.9(30.0)	62.1	335.0
960時間から1860時間未満	581.0	174.0(29.9)	58.6	361.5
1860時間以上	547.8	156.4(28.5)	64.1	359.0
全施設(n=584)	565.3	150.4(26.6)	60.5	263.8

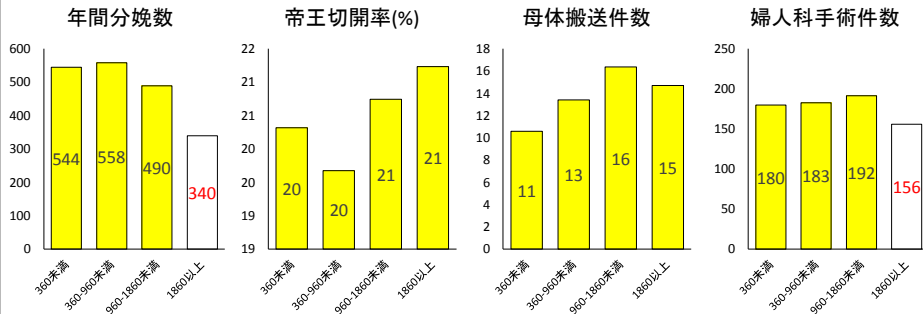
診療実績は年間数

指定のない一般病院



1. 時間外在院1860時間以上施設で、医師数、特に非常勤医師数が少ない。
2. それらの施設で、当直翌日の勤務緩和が実施されていない傾向であった。

### 指定のない一般病院



- (A)水準を満たす施設は半数(50.9%)に止まり、在院時間の長い施設で、医師数、特に非常勤医師数が少なく、当直翌日の勤務緩和が実施されていない傾向であった。
  - 在院時間の長い施設で分娩数や婦人科手術件数が少ない傾向であった。
- 宿日直を考慮すれば、実労働時間は大幅に削減できる可能性がある。
  - 医師(特に非常勤医師)確保と勤務緩和システム導入が課題になる。

### 指定のない一般病院の時間外在院時間ごとの施設数と医師・メディカルスタッフ数

平均時間外在院時間/年	施設数(%)	全病床数 (産婦人科 病床数)	産婦人科					助産師 数	看護師 数	小児科 医師数	麻酔科 医師数
			常勤医師数			妊娠 育児*	非常勤 医師数				
			男性	女性	合計						
<b>指定のない分娩取扱病院(n=320)</b>	<b>320</b>	<b>270(38)</b>	<b>2.8</b>	<b>1.9</b>	<b>4.8</b>	<b>0.9</b>	<b>3.3</b>	<b>14.4</b>	<b>13.0</b>	<b>3.4</b>	<b>3.4</b>
360時間未満	43(13.4)	228(32)	2.5	2.0	4.5	1.0	4.8	12.9	12.9	2.1	2.6
360時間から960時間未満	120(37.5)	247(31)	3.1	2.0	5.1	1.0	3.7	15.8	12.7	3.1	3.0
960時間から1860時間未満	111(34.7)	297(30)	2.9	2.1	5.0	0.9	2.9	14.6	14.1	3.8	4.1
1860時間以上	46(14.4)	305(27)	2.3	1.3	3.6	0.4	2.2	11.8	11.2	4.5	3.5
全施設(n=584)	584	419(38)	4.3	3.4	7.7	1.5	3.0	20.7	14.0	8.5	7.1

\*常勤医師のうち妊娠・育児に関わる女性医師数

### 勤務緩和の取り組み

平均時間外在院時間/年	専任クラーク有 件数(%)	翌日勤務緩和 件数(%)	院内保育所 件数(%)	院内助産 件数(%)	助産師外来 件数(%)
<b>指定のない分娩取扱病院(n=320)</b>	<b>95(29.7)</b>	<b>113(35.3)</b>	<b>198(61.9)</b>	<b>37(11.6)</b>	<b>176(55.0)</b>
360時間未満	13(30.2)	18(41.9)	20(46.5)	2(4.7)	20(46.5)
360時間から960時間未満	33(33.0)	52(43.3)	72(60.0)	19(15.8)	68(56.7)
960時間から1860時間未満	35(31.5)	36(32.4)	74(66.7)	11(9.9)	64(57.7)
1860時間以上	14(35.9)	7(17.9)	32(82.1)	5(12.2)	24(61.5)
全施設(n=584)	248(42.5)	246(42.1)	427(73.1)	94(16.1)	366(62.7)

### 仕事量

平均時間外在院時間/年	分娩数	帝王切開数 件数(%)	母体搬送 受入数	婦人科 手術
<b>指定のない分娩取扱病院(n=320)</b>	<b>501.6</b>	<b>101.7(20.3)</b>	<b>14.4</b>	<b>181.7</b>
360時間未満	544.3	110.6(20.3)	10.6	180.0
360時間から960時間未満	558.1	109.8(19.7)	13.4	182.8
960時間から1860時間未満	489.6	101.6(20.7)	16.4	191.5
1860時間以上	339.8	72.2(21.2)	14.7	155.8
全施設(n=584)	565.3	150.4(26.6)	60.5	263.8

診療実績は年間数

周産期母子医療センター指定のない(一般)病院における自治体病院の各指数

施設種類	施設数	平均時間外 在院時間/年	産婦人科					助産師 数	看護師 数	小児科 医師数	麻酔科 医師数
			常勤医師数			妊娠 育児*	非常勤 医師数				
			男性	女性	合計						
都道府県立	8	1,437	2.4	2.0	4.4	1.8	2.3	20.6	12.6	4.1	6.1
市町村立	58	1,313	2.2	1.4	3.6	1.1	2.0	16.1	12.7	7.2	4.8
自治体病院合計	66	1,328	2.3	1.5	3.7	1.1	2.0	16.6	12.7	6.8	5.0
その他の一般病院	254	1,047	3.0	2.0	5.0	1.3	3.7	18.6	13.6	7.7	6.7

\*常勤医師のうち妊娠・育児に関わる女性医師数

施設種類	分娩数	帝王切開数 (%)	母体搬送受入数	婦人科手術
都道府県立	385.5	70.6(18.3)	3.0	147.3
市町村立	259.5	60.6 (23.4)	12.9	176.3
自治体病院合計	274.8	61.8 (22.5)	11.1	172.8
その他の一般病院	560.8	112.1 (20.0)	15.8	184.1

診療実績は年間数

一般病院を運営母体別に検討すると、自治体病院の在院時間が最も長かった。  
自治体病院で、常勤・非常勤医師数が少なく、分娩件数もその他の施設の半数以下であった。

周産期母子医療センター指定別自治体病院の各指数

施設種類	施設数	平均時間外 在院時間/年	産婦人科					助産師 数	看護師 数	小児科 医師数	麻酔科 医師数
			常勤医師数			妊娠 育児*	非常勤 医師数				
			男性	女性	合計						
都道府県立 (指定有)	33	1,161	3.7	3.5	7.2	0.8	2.4	19.3	21.4	5.6	4.8
(指定なし)	8	1,437	2.4	2.0	4.4	1.8	2.3	20.6	12.6	4.1	6.1
市町村立 (指定有)	49	1,336	3.6	3.0	6.6	2.2	1.8	23.8	12.8	9.4	8.9
(指定なし)	58	1,313	2.2	1.4	3.6	1.1	2.0	16.1	12.7	7.2	4.8

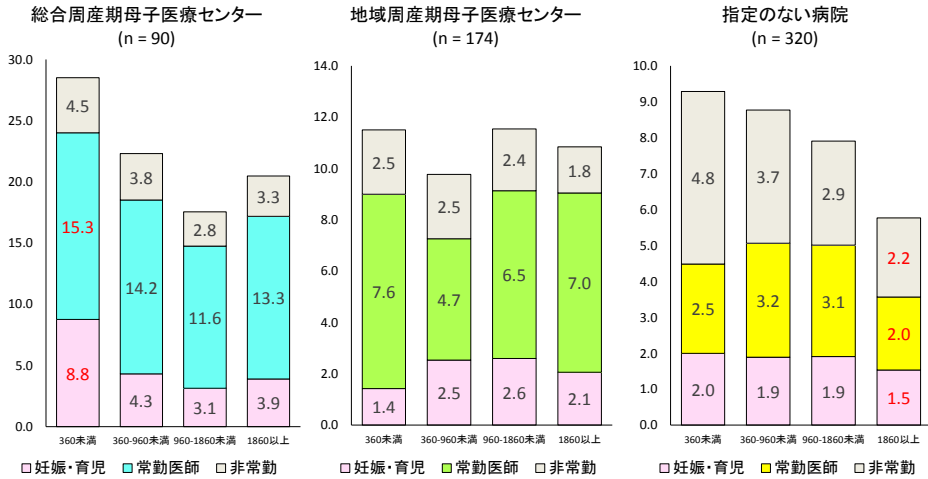
\*常勤医師のうち妊娠・育児に関わる女性医師数

施設種類	分娩数	帝王切開数 件数 (%)	母体搬送 受入数	婦人科 手術
都道府県立 (指定有)	584.0	203.2(34.8)	101.8	257.0
(指定なし)	385.5	70.6 (18.3)	3.0	147.3
市町村立 (指定有)	590.5	175.4 (29.7)	73.2	282.2
(指定なし)	259.5	60.6 (23.4)	12.9	176.3

診療実績は年間数

都道府県立の80.5%、市町村立の45.8%の施設が周産期センターの指定を受けている。  
指定がない都道府県立で、在院時間は長い。  
指定のない施設で医師数が少なく、分娩数や婦人科手術数が少ない傾向であった。

## 施設機能別時間外在院時間ごとの 常勤医師数(妊娠・育児中医師数)と非常勤医師数



周産期母子医療センターでは、時間外在院時間と医師数に明らかな関連はなく、指定のない一般病院では、医師数、特に非常勤医師数が少ない施設で、在院時間は延長する傾向。

## 施設機能別時間外在院時間ごとの妊娠・育児中の勤務緩和

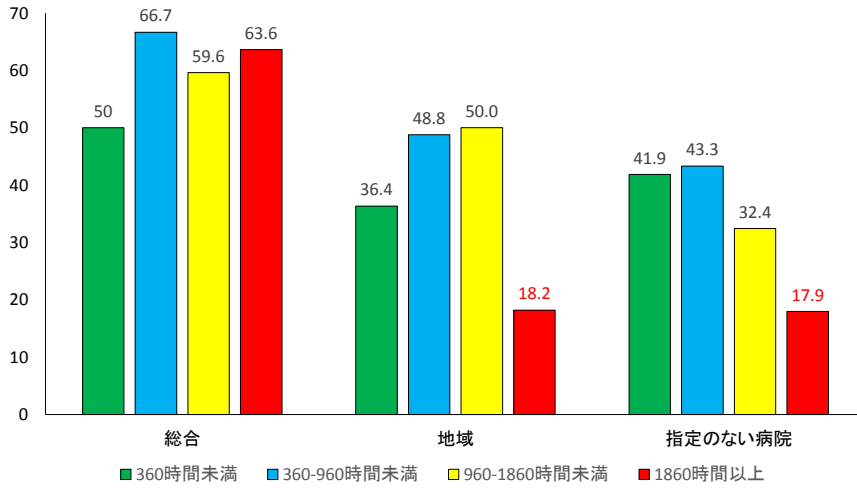
平均時間外在院時間/年	該当者あり 施設数(%)	妊娠・育児中 医師数(%)*	勤務緩和なし 件数(%)	当直減 件数(%)	当直免除 件数(%)	時短勤務 件数(%)
<b>総合周産期母子医療センター (n = 90)</b>	<b>74 (82.2)</b>	<b>3.2 (20.0)</b>	<b>11 (14.9)</b>	<b>39 (52.7)</b>	<b>41 (55.4)</b>	<b>24 (32.4)</b>
360時間未満	4 (100.0)	8.8 (36.5)	0 (0.0)	1 (25.0)	4 (100.0)	3 (75.0)
360時間から960時間未満	15 (83.3)	3.8 (20.7)	3 (20.0)	8 (53.3)	9 (60.0)	4 (26.7)
960時間から1860時間未満	46 (80.7)	2.7 (18.2)	8 (27.4)	26 (56.5)	22 (47.8)	14 (30.4)
1860時間以上	9 (81.8)	3.2 (22.0)	0 (0.0)	4 (44.4)	5 (55.6)	3 (33.3)
<b>地域周産期母子医療センター (n = 174)</b>	<b>124 (71.3)</b>	<b>1.8 (20.9)</b>	<b>22 (17.7)</b>	<b>51 (41.1)</b>	<b>59 (47.6)</b>	<b>49 (39.5)</b>
360時間未満	7 (63.6)	0.9 (10.1)	2 (18.6)	2 (28.6)	3 (42.9)	2 (28.6)
360時間から960時間未満	28 (68.3)	1.7 (23.8)	4 (14.3)	13 (46.4)	11 (39.3)	12 (42.9)
960時間から1860時間未満	77 (77.0)	1.9 (21.0)	12 (15.6)	32 (41.6)	41 (53.2)	32 (41.6)
1860時間以上	12 (54.5)	1.6 (20.4)	4 (33.3)	4 (33.3)	4 (33.3)	3 (25.0)
<b>指定のない分娩取扱病院 (n = 320)</b>	<b>161 (50.3)</b>	<b>0.9 (18.9)</b>	<b>27 (16.8)</b>	<b>51 (31.7)</b>	<b>80 (49.7)</b>	<b>62 (38.5)</b>
360時間未満	26 (60.5)	1.0 (22.8)	5 (19.2)	5 (19.2)	11 (42.3)	10 (38.5)
360時間から960時間未満	66 (55.0)	1.0 (20.2)	13 (19.7)	21 (31.8)	35 (15.8)	25 (37.9)
960時間から1860時間未満	54 (48.6)	0.9 (18.2)	8 (14.8)	21 (38.9)	28 (9.9)	19 (35.2)
1860時間以上	15 (32.6)	0.4 (12.2)	1 (6.7)	4 (26.7)	6 (12.2)	8 (53.3)
全施設 (n = 584)	361 (61.8)	1.5 (19.5)	61 (16.9)	141 (39.1)	180 (49.9)	135 (37.4)

\*常勤医師のうち妊娠・育児に関わる女性医師数の頻度

妊娠・育児中の医師数や勤務緩和の状況と在院時間には明らかな関連は認めなかった。

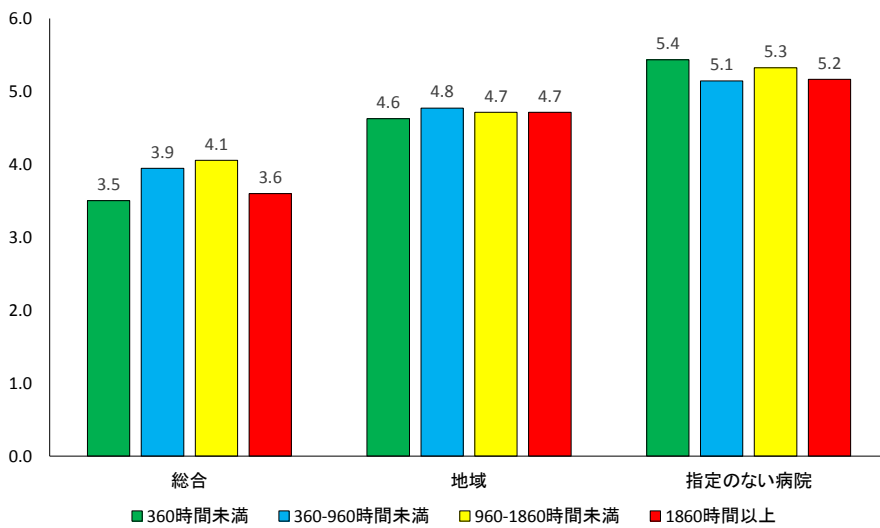


施設機能別時間外在院時間ごとの当直翌日の勤務緩和実施率(%)



地域周産期母子医療センターと指定のない一般病院で、時間外在院時間の長い施設で当直翌日の勤務緩和実施率が低い。

施設機能別在院時間別当直中の平均睡眠時間(時間)



総合周産期母子医療センターで当直中の平均睡眠時間は短い。

## 長時間労働(在院)に関連する要因

1. 施設機能によって、要因は異なる。
2. 周産期母子医療センターでは、在院時間は医師数や分娩数には依存していなかった。
3. 総合周産期母子医療センターでは、在院時間の長い施設で、**専従の医師事務補助者がなく、年間母体搬送受入件数や婦人科手術件数**などが多い傾向であった。
4. 地域周産期母子医療センターでは、在院時間の長い施設で、**勤務緩和システムが導入**されていない傾向であった。
5. 指定のない一般病院では、在院時間の長い施設で、**医師数、特に非常勤医師数が少なく、勤務緩和システムが導入**されていない傾向であった。
6. 一般病院の中では**自治体病院**の在院時間が最も長く、常勤・非常勤医師数が少なく、分娩件数も他施設の半数以下であった。

## 働き方改革への対応

1. 労働時間管理の適正化
  - ・タイムカード・ICカードなどにより**出退勤時間を記録し、上司が把握する。**
  - ・実労働時間の評価と対応
    - 自己研鑽：当該医師による**業務申告書の提出**と上司による確認、記録。
    - 宿日直中の診療業務に関しては労働時間に計上し、賃金を支払う。
2. 36協定の自己点検
  - ・事務職、メディカルスタッフ、医師など職種に応じ個別に検討する。
  - (2024年までは制限なし。以降、医師では960時間以内であれば、単月100時間未満まで可)
  - ・診療科によって異なる協定を締結することもできる。
  - (協定を超えた労働が1度でもあれば、違法で行政指導・刑事罰の対象になる)
3. タスク・シフティングの推進と医師の労働時間短縮に向けた取組
  - ・事務職、メディカルスタッフなどに可能な業務は移管する。
  - ・**複数主治医制と当直翌日の勤務緩和の実施。**
4. 長時間労働の要因と対策
  - ・総合周産期母子医療センターでは、母体搬送受入と婦人科手術が要因。
    - 個々の施設対応では解決が難しく、**連携体制など地域で検討する必要がある。**
  - ・地域周産期母子医療センターでは在院時間は、マンパワーや仕事量に依存しない。
    - 短時間の在院時間に止まっている施設の**システムや対策を取り入れる必要がある。**
  - ・一般病院では在院時間は、医師数に依存している。
    - 医師(特に非常勤医師)確保と勤務緩和システム導入。**
    - 自治体病院のあり方を検討する必要がある。

業務申告書							
申告者指名							
日付	4月/1	2	3	4	5	6	7
曜日	月	火	水	木	金	土	日
宿日直			○				○
出勤時間	7:30	8:30	8:30		7:30		8:30
(所定出勤時間)	8:30	8:30	8:30	8:30	8:30		
(所定退勤時間)	17:30	17:30	17:30	17:30	17:30		
退勤時間	22:30	19:30		12:30*	21:00		18:30
宿日直中の診療			19:00-21:00	3:00-3:30			9:00-12:00 15:00-18:30
研鑽							
①学習	7:30-8:30				7:30-8:30		
②学会準備	19:30-22:30						
③見学		17:30-19:30			19:30-21:30		
その他							
上司確認欄(印)							

\*宿日直許可があれば本来昼に帰宅する必要はないが、連続勤務制限、時間外労働時間規制に配慮している。

宿直許可のある場合の例

## 厚労省が再編の検討を求めた424公立・公的病院の内訳

「地域医療構想に関するワーキンググループ」9月26日

	施設数	公立(%)	平均分娩数
総数	424	257 (60.6)	
分娩施設	31 (7.3)	21 (67.7)	174.9
婦人科のみ	63 (14.9)	31 (49.2)	
産婦人科なし	330 (77.8)	205 (62.1)	